

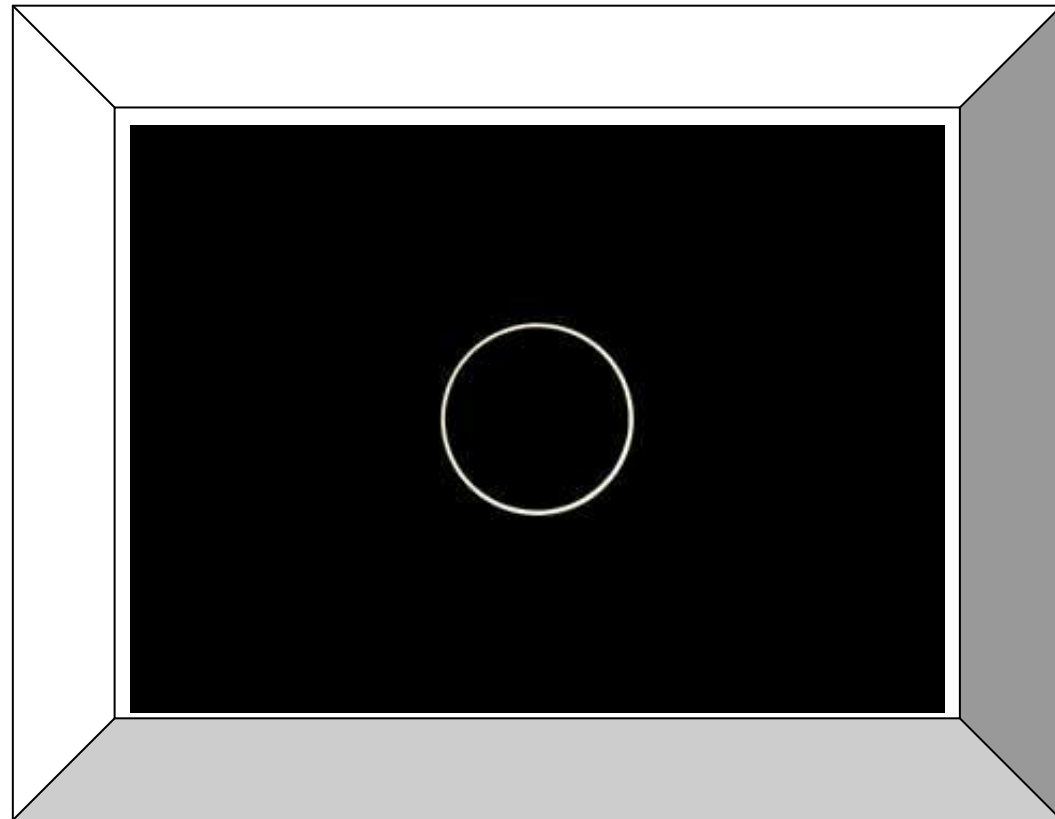
世紀の天体ショー 金環日食

連休も終わり、学校は通常モードに切り替わって、子ども達に「規則正しい生活」をしましょうと呼びかけております。

さて、2012年5月21日に金環日食（きんかんにっしょく）が起こります。「日食」は、太陽の手前を月が横切るために、太陽の一部または全部が月によって隠される現象です。

国内での金環日食は1987年9月23日に沖縄で見られて以来25年ぶり、そして次回の日本における金環日食は、北海道で18年後の2030年6月1日になります。

めったに見られない自然現象です。正しい観測方法でぜひ、自然の神秘に触れてほしいと思います。



*上の図は1987年9月23日に沖縄で撮影された金環日食です。

*尼崎市役所付近では下の時間帯で観測される予定です。

《2012年5月21日(月) 尼崎市役所付近》

日食開始 6:17:12

金環開始 7:28:43

日食最大 7:29:51

金環終了 7:30:58

日食終了 8:54:15

《観測方法》

太陽は大変強い光と熱を出しています。正しい方法で観察しないと、目を痛めたり、最悪の場合は失明したりする危険性があります。

《やってはいけないこと》

- ① 肉眼で直接太陽を見る(数秒でも危険です)
- ② 望遠鏡や双眼鏡を使う
- ③ 色つき下敷きやCDを使う
- ④ フィルムの切れ端を使う
- ⑤ すずを付けたガラス板を使う
- ⑥ サングラスやゴーグルを使う
- ⑦ 日食グラスを使って望遠鏡や双眼鏡をのぞく
- ⑧ 通学途中で観測しない。(交通事故などに巻き込まれます)

＜安全な観測方法＞

- ① ピンホールを利用する
厚紙など、光を通さない薄いシートに小さな穴を開けて、日食中の太陽の光を当てます。すると、穴を通して影の中に映った太陽の光が、かけた太陽の形になっています。
- ② 木漏れ日を見る
ピンホールと同じ原理で、葉の間を通ったそれぞれの光が太陽の形になります。
- ③ 日食専用のグラスや遮光板(しゃこうばん)を使う
日食専用として、様々なグラスや遮光板が販売されています。それぞれの製品の説明書に書かれた使用上の注意をよくお読みになって、安全に観察するよう心がけてください。特に、グラスや遮光板を使っているときにはしっかりと目に当てて、太陽の光がグラスや遮光板のまわりから目に入らないように注意してください。また、顔を太陽の方向に向けている間は、わずかな時間でもグラスや遮光板を目から外さないようにしましょう。太陽を観察している時間はなるべく短くし、長時間連続して観察を続けないようにすることも大切です。